


平成21年度以降の検討・推進体制(案)

平成21年3月17日
 国土交通省 航空局

平成21年度の「航空物流に関する懇談会」の位置付け(案)

「我が国航空物流のグランドデザイン」の実現に向けて、平成21年度以降、「航空物流に関する懇談会」及び分科会・WGにおいて、具体的な施策の策定・改定、実行、評価及び改善を実施することにより、関係者の連携・協働による施策の総合的・一体的な推進を図る。

Ground Design

我が国航空物流に関する問題意識、視座、基本指針、中長期目標等を取り纏め社会経済情勢等の変化に応じて、3～5年毎に見直し

懇談会

年次サイクル

Plan (計画)

「我が国航空物流のグランドデザイン」を基礎として、「アクションプラン(当面の取組)」を策定 ※21年度以降は改定

懇談会

Action (改善)

フォローアップの結果を踏まえ、「アクションプラン(当面の取組)」の見直し・拡充・強化等を検討

分科会・WG

Do (実行)

関係者のパートナーシップの下、「アクションプラン(当面の取組)」を推進

分科会・WG

航空会社、フォワーダー、荷主等の連携・協働

地域の関係者の連携・協働

関係省庁の連携・協働

Check (評価)

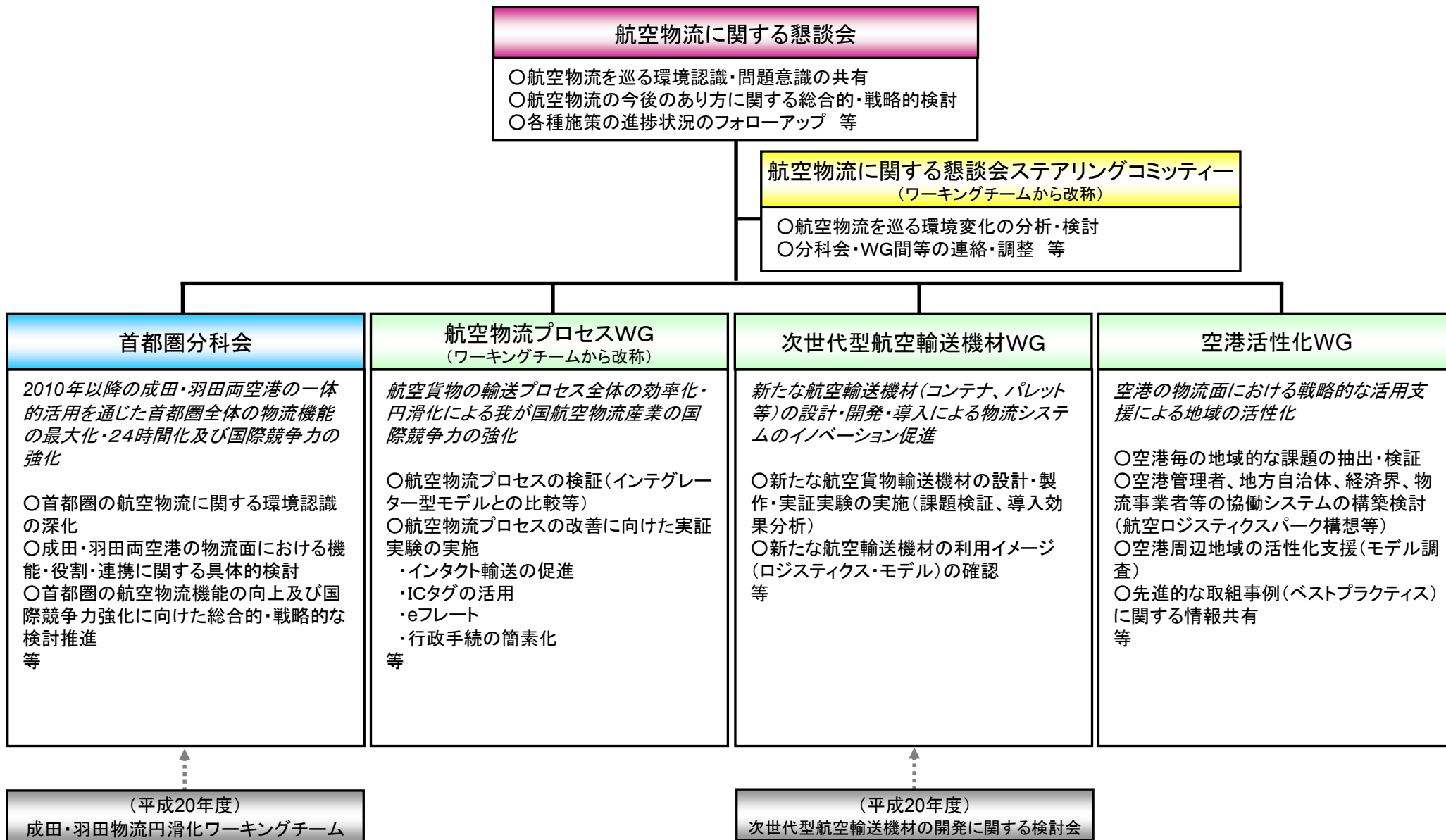
航空物流を巡る環境変化を分析するとともに、「アクションプラン(当面の取組)」の進捗状況をフォローアップ

懇談会

【平成20年度】

【平成21年度～】

平成21年度の「航空物流に関する懇談会」の検討・推進体制(案)



※ 分科会及びWGの検討成果については、適宜、懇談会・ステアリングコミッティーへ報告を行う。

※ 国際物流戦略チーム等と連携・協力して施策を推進する。

平成21年度の全体行程表(案)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
航空物流に関する懇談会			●									●	
航空物流に関する懇談会 ステアリングコミッティー			●								●		
首都圏分科会	----->	----->										----->	
			[3~4回開催]										
航空物流プロセスWG	----->	----->										----->	
			[随時開催]										
次世代型輸送機材WG	----->	----->										----->	
			[随時開催]										
空港活性化WG			----->										----->
			[随時開催]										

我が国航空物流のグランドデザイン(アクションプラン)のロードマップ

アクションプラン

中長期目標

- 我が国航空物流産業の国際競争力の強化**
我が国航空物流産業の成長戦略として、今後も増大が見込まれるアジア発着貨物の取り込みや航空自由化等の環境整備を通じ、国際航空貨物市場における競争力の向上を目指す。
- オペレーションの共同化・集約化**
トータルコストの削減、リードタイムの短縮、空港内の混雑緩和、環境負荷の低減等の観点から、荷主、フォワーダー、航空会社等の連携・協力の下、航空貨物輸送におけるオペレーション(積み付け、保管、輸配送等)の共同化・集約化を推進する。
- ICT(情報通信技術)を活用したイノベーション**
サプライチェーン・マネジメントの高度化に対応した高品質な物流サービスを提供するとともに、航空貨物輸送におけるオペレーションの効率化を実現するため、航空貨物情報(個人情報、位置情報、通関情報、セキュリティ情報等)の電子化及び関係者間での共有化を推進する。
- グリーン物流の推進**
地球環境保全意識の世界的な高まり、原油価格高騰によるコスト増大等への対応として、航空貨物輸送に係るCO₂排出の一層の削減、エネルギー消費の効率化等を実現する。
- セキュリティ強化と貿易円滑化の両立**
セキュリティ強化と貿易円滑化の両立を目指す国際的な動きに対応し、我が国産業の国際競争力強化を図るため、輸出入手続の更なる簡素化、物流事業者のコンプライアンス体制確保等を推進する。
- 航空貨物輸送機材の高度化**
ハンドリングの効率化、輸送品質の向上、環境負荷の低減等の観点から、新たな航空貨物輸送機材(コンテナ、パレット、地上支援機材等)の設計・開発・導入により、物流システムのイノベーションを促進する。
- Sea & Air(シー・アンド・エア)輸送の推進**
国際物流サービスに対する荷主ニーズの多様化、原油価格高騰によるコスト増大等に対応するとともに、我が国空港・港湾の国際物流ハブ機能の強化を図るため、海上と航空の連携によるSea & Air(シー・アンド・エア)輸送を推進する。
- 首都圏空港の物流機能拡充**
2010年供用開始に向けて成田国際空港の北伸事業及び羽田空港の再拡張事業を推進するとともに、成田・羽田両空港の一体的活用を通じた首都圏全体の物流機能の最大化・24時間化を実現する。併せて、空港貨物地区等の混雑緩和、空港周辺の物流関連施設との有機的連携、成田・羽田間の物流円滑化等を推進する。
- 関西国際空港の国際物流ハブ機能の強化**
関西国際空港においては、アジア発着貨物を中心に、国際トランジット貨物の戦略的誘致、深夜貨物便ネットワークの拡充、海上輸送との連携等により、国際物流ハブ機能の強化を図る。
- 中部国際空港の利活用の推進**
中部国際空港においては、日本経済をリードする中部圏のものづくり産業の活力と継続的発展のため、深夜貨物便を含めた国際ネットワークの拡充、新規航空貨物の開拓、総合保税地域を活用した物流機能の高度化等により、空港の利活用を推進する。
- 地方空港の戦略的活用**
地方空港においては、規模、地理的条件等の地域特性に応じて、国内流通拠点、国際中継拠点、地域産業振興拠点等としての多様な発展可能性について検討を行う。更に、それぞれの発展可能性に応じた地方空港の戦略的な活用支援により、地域の活性化を図る。
- 空港を核とした物流拠点の形成**
空港を核とした物流拠点(航空ロジスティクス・パーク)の形成を目指して、空港貨物地区内の物流機能向上に加えて、空港周辺地域におけるアクセス改善、物流効率化、貿易手続の簡素化、物流関連産業の集積等を推進する。そのため、空港管理者、航空会社、フォワーダー、地元産業、関係行政機関等の参画による、地域的な協働システムの構築を図る。

当面の取組

- アジアとの連携強化(国)
- インテグレーター型事業モデルの検証(国等)
- インタクト輸送の促進(国、航空会社、フォワーダー)
- 共同混載・輸配送の促進(国、航空会社、フォワーダー)
- ICタグの活用促進(国、航空会社、フォワーダー)
- eフレートの推進(国、航空会社、フォワーダー)
- KS・RA制度の適切な運用(国等)
- AEO制度の普及促進(国、航空会社、フォワーダー)
- 次世代型コンテナの開発(国、航空会社)
- Sea & Air(シー・アンド・エア)輸送の試行的実施(国、空港会社等)
- 成田北伸事業の推進(国、空港会社等)
- 羽田再拡張事業の推進(国等)
- 成田・羽田両空港の物流円滑化(国、空港会社等)
- 首都圏臨海部の物流機能の高度化(国等)
- 関空二期事業の推進(国、空港会社等)
- 関空・中部における空港利活用の促進(空港会社、国等)
- 航空自由化の推進(国)
- 空港周辺地域の活性化支援(国、空港管理者等)
- ナレッジ・マネジメントの推進(国、空港管理者等)

進捗状況及び今後の検討・推進体制

- 北東アジア航空自由化シンポジウム (平成20年度)
- 日中韓物流大臣会合 (航空分野は平成20年度～)
- 我が国航空物流システムのアジア戦略に関する検討調査 (平成20年度)
- 航空物流プロセスWG (平成20年度～)
- 航空物流プロセスに関する実態調査 (平成20年度)
- 航空貨物輸送に係る安全対策研究会 (平成20年度)
- AEO推進官民協議会 (平成20年度)
- 次世代型輸送機材の開発に関する検討会 (平成20年度)
- 次世代型輸送機材WG (平成21年度～)
- Sea & Air輸送の推進に関する調査・検討 (平成20年度)
- 成田・羽田物流円滑化WG (平成20年度)
- 首都圏分科会 (平成21年度～)
- 国際航空物流と税関行政に関する懇談会 (平成20年度～)
- 空港活性化WG (平成21年度～)
- 物流面における地方空港の戦略的活用モデル検討調査 (平成20年度)
- 航空物流ポータルサイト (平成21年度～)
- 航空物流市況 (平成20年度～)